

清退共（給付経理）に関するコメント状況

○適切に行われていると評価できる趣旨のコメント  
 △事前回答により了解が得られたコメント  
 ▲今後の具体的な検討が求められているコメント及び事前回答に了解を得られていないもの

資料 1 - 4

[ ] 内は、対応する基本方針の項目を示す。

番号	評価項目	各委員のコメント状況					検討課題
		A	B	C	D	E	
1	[ I - 1 ~ 3 ] ○ 運用の目標 ・ 基本原則、運用の目的に基づき、運用の目標の達成に向けた運用の遂行が市場の状況を踏まえてなされているか	△	△	△	○	○	<p>&lt;A委員&gt;                      ●貸借対照表の「その他有価証券評価差額金」の内容は何ですか。                      (回答)                      清退共の自家運用における有価証券の保有目的は、流動性を確保する必要があるため「その他有価証券」としていることから、決算時には時価をもって貸借対照表価額としております。                      決算時における保有有価証券は「償却原価法」を用いて評価を行いますが、時価と評価の差額が「その他有価証券評価差額金」となります。</p> <p>&lt;B委員&gt;                      ●委託運用のパフォーマンス状況において、国内債券がベンチマークを下回っている。                      (回答)                      第1四半期のマイナスが年間のパフォーマンスに影響したことが主たる要因です。ベンチマークに近い数値ではありますが、今後も委託先のパフォーマンス状況を注視し、必要に応じて対応を実施していく所存です。</p> <p>&lt;C委員&gt;                      ●自家運用のパフォーマンスが多少悪い点が気になる。                      (回答)                      自家運用のパフォーマンスが多少悪い点については、退職金給付金が掛金収入を大きく上回る支出超過の状況において、キャッシュフローを確保するため、償還期間が比較的短く利回りの低い債券により運用せざるを得ないことが影響しているためです。</p>

2	<p>〔I-4〕</p> <p>○ 基本ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本ポートフォリオに基づく資産配分がなされているか</li> <li>基本ポートフォリオの検証が適切になされているか</li> </ul>	△	○	○	△	○	<p>&lt;A委員&gt;</p> <p>●【基本ポートフォリオに基づく資産配分】の①「適切に」という文言よりは、「慎重に」の方が良いではありませんか。「清酒」も同様です。</p> <p><u>(回答)</u></p> <p>「適切に」の表記を削除します。</p> <p>月次管理は運用管理において当然の行為であり、「適切に」「慎重に」行うべきもの。本報告書の実績はすべて「適切に」「慎重に」行ったものですので、そのことを強調する語句は不要と考えます。</p> <p>&lt;D委員&gt;</p> <p>●（評価委員会の範疇を超えますので単なる感想ですが・・・）基本ポートフォリオの見直しを実施しているが、リーマンショック後のこれほどの環境変化にも関わらず前回の資産配分比率とあまり変わらない、というのは現在の環境変化が短期的なものであると見ている為なのでしょうか。今般の環境変化は改めて基本ポートフォリオ自体を問うことになるのでしょうか（これは他の事業に関しても同様の感想です）。</p> <p><u>(回答)</u></p> <p>基本ポートフォリオは毎年度検証することとしており、22年度の検証については、外部要因の期待収益率については、現在の運用環境を踏まえ、今後5年間の経済予測等に基づき推計、リスク・相関係数については、過去10年間のヒストリカルデータから算出しています。今回採用した数値（外部コンサルタントに委託）は、5年前に採用した数値に比べ、期待収益率は各資産とも若干上昇、リスクについては、債券資産は低下、株式資産は上昇という傾向にありましたが、この数値を用いて効率的フロンティアを計算した結果、現行基本ポートフォリオは、効率的フロンティア上に位置していることが確認できております。</p>
3	<p>〔I-6〕</p> <p>○ 情報公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用に関する情報公開が十分に行われているか</li> </ul>	○	△	○	○	○	<p>&lt;B委員&gt;</p> <p>●引き続き積極的な情報公開の姿勢を保持されたい。(共通)</p> <p><u>(回答)</u></p> <p>今後も積極的な情報公開に努めます。</p>
4	<p>〔II〕</p> <p>○ 自家運用の遂行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針に定める基本的投資スタンスが遵守されているか</li> <li>リスク管理が適正になされているか</li> </ul>	○	○	○	○	○	

5	<p>〔Ⅲ－１〕</p> <p>○委託運用（金銭信託）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか</li> <li>・受託機関のシェア変更が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか</li> <li>・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか</li> </ul>	○	○	○	△	○	<p>&lt;D委員&gt;</p> <p>●『委託運用のパフォーマンス改善に向けた取組みについては、平成21年6月に運用スタイルの変更を行った外国株式について、更に平成22年10月にモデルの改良（銘柄選択プロセスの精緻化等の改善策）を行うことの報告を受け、その改良の効果が確認できた。』とありますが、具体的にどのように改良の効果が確認されたのか、補足説明をお願いします。</p> <p><u>（回答）</u></p> <p>モデル改良後は各月ともほぼ安定的に超過収益が得られるようになったことを月次報告やヒアリング時に確認しております。</p>
6	<p>〔Ⅲ－２〕</p> <p>○金銭信託以外の委託運用（生命保険資産）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか</li> <li>・受託機関のシェア変更が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか</li> <li>・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか</li> </ul>	○	○	○	○	△	<p>&lt;E委員&gt;</p> <p>●事務量等の評価とは、具体的にどういうことか。</p> <p><u>（回答）</u></p> <p>事務量等の評価は、清退共資産の管理に係る事務処理（問合せ等の対応状況、事務処理の正確性等）を総合的に評価するものです。</p>
7	<p>〔Ⅲ－３〕</p> <p>○有価証券信託による委託運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託機関の選定・評価が基本方針に定めた基本に基づき適切に行われているか</li> <li>・評価に基づき適切に払戻が行われているか</li> <li>・受託機関の資産管理・運用状況の把握が適切になされているか</li> </ul>	－	－	－	－	－	
8	<p>〔Ⅳ〕</p> <p>○運用管理体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用体制の整備・充実がなされているか</li> <li>・資産運用委員会等の運営が適切になされているか</li> </ul>	○	△	○	○	○	<p>&lt;B委員&gt;</p> <p>●運用体制の整備・充実に意を用いていることには評価できる。今後とも人材育成に努められたい。（共通）</p> <p><u>（回答）</u></p> <p>今後も人材育成を含めた運用体制の整備・充実に努めます。</p>